

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポートセンターゆうひが丘 児童発達支援 希路		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 9日		～ 令和 7年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 20日		～ 令和 8年 1月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまの成長に合わせた療育とともに、ご家族の不安や悩みにも寄り添えるよう、定期的な面談やアドバイスを行っています。ご家族全体を支える支援ができるよう努めています。	・全てのご家族を対象に個別相談をご案内しているほか、ご要望に応じて対面や電話による相談を随時実施しています。また、公認心理師・言語聴覚士・理学療法士等の各セラピストによる専門的な面談もっており、多角的な視点から育児や発達をサポートする体制を整えています。	・ご家族が一人で悩まず、安心して子育てができるよう、いつでも相談できる体制を整えます。有益な情報の提供を行うとともに、ご家族と一緒に共に考え、心の通ったサポートの充実を図ります。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流の機会を定期的に設けていますが、参加率の向上には課題を感じています。より多くのご家族が気軽に参加でき、お互いの経験を共有し合えるような仕組みや、魅力あるきっかけ作りを検討していく必要があります。	・ペアレント・プログラムや保護者会などを企画していますが、家庭状況や就労形態による日程調整の難しさが参加のハードルとなっていると分析しています。今後は、多様なライフスタイルに合わせた開催時期や実施形態の検討が必要だと感じています。	・ご家族のニーズをよりきめ細かく把握し、一人でも多くの方が無理なく参加できるよう、多様なライフスタイルに寄り添った、開催日程やプログラム内容の再検討に努め、保護者同士の繋がりの充実に繋がります。
2			
3			